

## 旧3通地域協議会第5回 会議録（概要）

（永松座長）

いよいよこの協議会も、最後のまとめを作り上げる段階に入って参ります。皆様のご意見をしっかりと盛り込んだ、意見報告書を作り上げますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

（北田副座長）

2035年の生徒数をみて改めて課題の大きさを理解いたしました。学級数で25学級、1000人の減少。本当に課題の大きさというものを認識しました。

（座長）

本日は、本協議会にそれぞれの立場を代表してご出席いただきました皆様のご意見を集約し旧第3通学区の将来像についての意見提案書（素案）の概要について協議をさせていただきたいと思ひます。これまでの意見交換等を踏まえ、事前に協議会事務局におきまして作成検討を重ねていただきました素案という形で、各委員の皆様へ、事前に配布をさせていただいておりますが、これからこの素案につきまして、章ごとに、内容を確認していただき、委員の皆様からご意見を賜りながら、意見書を完成させていきたいと考えております。よろしくお願ひします。

（事務局）

先ほど座長からお話があった通り、意見書は、第1章から第4章からなっております。主に第1章、第2章は、現在の旧第3通の状況と、これからの課題、こちらのデータ等は主に県の方から状況をお聞きしながら作成させていただきました。それから第3章につきましては、主にこの協議会での内容を、ざっくりまとめたものをお示ししております。最後に、第4章に本協議会の提案について書かれております。それではご審議の方、よろしくお願ひいたします。

（座長）

進め方としては章ごとに区切りながら進めさせていただきたいと思ひます。本日の議論では第4章が、具体的な要望等入っておりますので、ここを中心に進めさせていただきたいと思ひます。それでは続きまして第1章の旧第3通学区高校の現状ということで、ここでは第1期の長野県の高等学校再編計画。そして、令和2年度の学級数、在籍生徒数の状況を、掲載させていただいております。そして最後に、5ページ目になりますが、各公立高校の教育活動の現状ということで、3つの方針、及びグランドデザイン、このような内容で構成されております。

続きまして、第2章をお開きください。この第2章、旧第3通学区の公立高校を取り巻く課題ということでこちらの方は、中学校卒業生数の推計、またこの3通の周辺通学区との高校進学に伴う流出入。そして、県内の私立高校及び県外高等学校への進学状況です。そのような内容が、2ページにわたって掲載されております。この協議会で言いますとあり方を検討するにあたっての基礎資料ということで事務局の方から説明を受けてきた内容が中心となっております。後の議論の少子化の問題、そして、他の周辺通学区への流出問題、そこに関わってくる資料ということになろうかと思ひます。掲載の内容については特によろしいでしょうか。

続きまして、第3章。子供たちの夢を実現する学び、こちらの方では、高校改革、また実施方針の旧第3通学区としての方向性、また本協議会での協議のポイント。多様な学びの場の必要性と選択肢の充実についてということで、北信地域全体の視点を入れながら、この協議会を進めてきた部分が、掲載されているところになります。特に協議でご意見を多くいただきました高校としての多様性のあり方等ですね、ここが出発点になっていますが記述の仕方はよろしいでしょうか。